

# 田んぼダムだより

～第12号～

農家の皆さまにご協力いただいている「田んぼダム」については、令和6年度末時点で、679ha(令和5年度末+62ha)まで拡大することができました。来年度以降も引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

## ◆令和6年度田んぼダムマイスター研修会の開催

田んぼダムの県内全体への普及・拡大に向けて、今年度も「田んぼダムマイスター研修会」を実施しました！

本研修会は、各地域で田んぼダムの取組みを牽引する人材「田んぼダムマイスター」の育成を目的に、多面的機能支払交付金ブロック会議と連携して令和4年度から開催しております。

今年度は県内5会場(熊本市、宇城市、合志市、人吉市、上天草市)で実施し、多面的機能支払交付金活動組織を中心に5会場合計で766名の方にご参加いただきました。

### <実施会場及び参加人数>

|          |               |      |
|----------|---------------|------|
| 2月 6日(木) | 宇城市 ウイングまつばせ  | 198名 |
| 2月 7日(金) | 人吉市 カルチャーパレス  | 77名  |
| 2月18日(火) | 合志市 文化会館      | 213名 |
| 2月20日(木) | 上天草市 松島総合センター | 103名 |
| 2月26日(水) | 熊本市 植木文化ホール   | 175名 |
| 合 計      |               | 766名 |



会場内の状況(宇城市)

研修会では、田んぼダムに関する動画上映や、人吉・球磨地域で実際に取り組んでいる土地改良区より、取り組み事例や農家の方の感想などをご講演いただきました。また、県農村計画課からは、田んぼダムの流出抑制効果や、農作物への影響に関する説明を行ったほか、先進地の取り組みを紹介しました。

本研修会を受講された「田んぼダムマイスター」の方々が、各地域で中心となって田んぼダムを普及・拡大していただけることを期待しております。



ひとよし土地改良区  
秋山事務局長

「田んぼダム」に関する動画とパンフレットは、以下のリンク及び2次元コードから閲覧できます。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/85/162369.html>

【URL】

【2次元コード】



百太郎溝土地改良区  
市田事務局長

## ◆市町村広報誌で情報発信！

「田んぼダム」の広報活動の一環として、県内全市町村の広報誌を活用した情報発信を行っています。

「田んぼダム」が**地域を主体**とした**持続可能な住民参加型**の取り組みとなるよう、農家の方に「田んぼダム」の取り組みを呼びかけるとともに、県民のみなさまの理解も得るべく、市町村広報誌を活用して「田んぼダム」の取り組みを呼びかけているところです。

引き続き、より多くの方に「田んぼダム」を知っていただけるように、広報活動も頑張っていきます！

**「田んぼダム」に取り組みましょう！！**

「田んぼダム」とは、田んぼに降った雨水を一時的に貯め、時間をかけてゆっくりと排水する仕組みです。「田んぼダム」に取り組むことで、**田んぼから流れ出す水の量を緩やかにする効果が確認され、これにより稲作時の浸水リスク等の被害軽減が期待できます。**さらに、「田んぼダム」に取り組んでも**農作物の生育や収量等へ特段の影響がないことも分かりました。**

また、**多面的機能支払交付金等**を活用して、「田んぼダム」専用せき板<sup>※</sup>、専用排水樹<sup>※</sup>を購入することが出来ます。

人吉・球磨地域では、令和5年度末時点で既に617ha（東京ドーム約135個分）の田んぼで取り組みを実施しています。このように、**身近な地域や下流域のために、農家同士で協力して「田んぼダム」を推進しています。**

「田んぼダム」は**地域全体により多くの田んぼで取り組むことによって、災害リスクに対するより大きな効果を発揮します。**みなさんの地域を田んぼで守るため、ぜひ、「田んぼダム」に取り組みましょう。

田んぼダムの仕組み

通常の水田の場合  
上流 排水路 田 下流

田んぼダムに取り組んだ場合  
上流 排水路 田 下流  
下流へゆっくり排水  
下流のリスク軽減

■問い合わせ  
〇〇〇課 ☎〇〇〇-〇〇〇（各市町村担当課）

★もっと知りたい方は  
QRコードから！！




市町村広報誌原稿

のぼり旗も引き続き配布中です！

## ◆田んぼダム専用排水樹の模型を製作しました！

令和5年度から県営事業で標準設置することとしている機能分離型排水樹の模型を製作しました！

模型は高密度発泡スチロール製でとても軽く、片手でも持ち運びができます。また、実際にせき板を動かすこともできるため、より構造を理解しやすくなっています。農村計画課で保管していますので農家の方や関係者へ説明する際にはぜひ積極的にご活用ください！



令和7年3月発行 熊本県農村計画課